

「クルマの進化とこれからのモビリティ社会」

日時：6月2日(火) 14:55-16:40 (4限)

※通常の授業時間と異なります。ご注意ください。

オンライン講義によるライブ実施

公共政策大学院では、「国際交通政策」の授業において、下記のとおり、トヨタ自動車株式会社執行役員 山本圭司 氏からお話を伺います。

電動化、知能化、情報化の進展により自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えようとしている中、クルマはつながる化により社会システムの一つに組み込まれ、クルマの在り方そのものも変わろうとしています。

本講義ではクルマの進化の歴史を振り返りながら、全世界で伸長するMaaSや開発競争が激化する自動運転を中心に、モビリティそのものがどのように変わっていくのかを考察します。そして我々が目指すべき豊かで実りあるモビリティ社会のイメージを、それらを支える技術開発の方向性と共に紹介します。

履修登録学生以外の本学学生の聴講も歓迎しますので、聴講を希望する学生もアクセス願います。

(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方はアクセス出来ません。)

※ オンライン授業URLは授業開始前にUTASで確認すること。資料はUTASにて本科目をお気に入り登録の上、ITC-LMSから入手すること。授業開始の1時間前までを目途に事前配布する。

※授業の実施形式に変更ある場合にはHPにおいて周知するので注意すること。

一問い合わせ：交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jp



トヨタ自動車株式会社
執行役員
山本 圭司 氏